

自動車関連技術講演会

—最新技術開発動向—

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会では、下記の要領にて自動車関連技術の特別講演会を開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

記

◆日時：平成29年1月13日（金）13：30～17：15

◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室

（名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター 15階）

◆定員：35名

◆参加：無料（会員及び一般）

（申込用紙をFAXでお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、事務局アドレスへ送信下さい。）

■講演会スケジュール：

—13:30～14:15 「運転中のドライバ状態を脳波で評価する技術」

産総研 自動車ヒューマンファクター研究センター

認知システム研究チーム長 武田裕司

【要旨】近年の先進運転支援システムの高度化に伴って、ドライバの状態を客観的に評価する技術の需要が高まっている。脳波などの生体信号計測は通常の運転場面においてドライバの内的な状態を直接的に評価できることから注目されている。そこで、本講演では事象関連脳電位を用いたドライバの注意状態評価技術を中心に、生体信号計測を用いたドライバ状態評価技術について紹介する。

—14:15～15:00 「ヒトの生理計測技術とヘルスケア・自動車技術への展開」

産総研 自動車ヒューマンファクター研究センター

生理機能研究チーム長 小峰秀彦

【要旨】ヒトのからだは、巧妙かつ複雑な仕組み（生理機能）によって制御されている。逆に、生理機能を計測・評価することによって、健康状態や将来の疾患リスクを知る手がかりとなる。また、生理機能は環境や状況に応じて時々刻々と変化する。例えば、運転中に心拍数や血圧などの生理機能は変化する。生理機能の計測・評価からドライバの状態を推定することが可能となる。このような、生理機能の計測・評価を用いたヘルスケアへの応用や自動車技術への展開について紹介する。

—15:00～15:15 —休 憩—

—15:15～16:00 「プラズマを用いたターボ機械の空力性能向上技術」

産総研 省エネルギー研究部門熱流体システムグループ 主任研究員 瀬川武彦

【要旨】ターボ機械の燃費向上や作動領域の拡大を目的として、産総研で研究開発を行っているプラズマアクチュエータを用いた流体制御技術について紹介する。翼周り剥離流れの能動制御、仮想的な Gurney flap 効果、タービン動翼先端漏れ流れの抑制技術などの風洞実験で得られた成果に加え、プラズマアクチュエータを流体機械に実装する場合に想定される問題点や対策技術について解説する。

ー16:00～16:45 「自動運転モビリティのための3次元環境構築技術」

産総研 ロボットイノベーション研究センター スマートモビリティ研究チーム

主任研究員 横塚将志

【要旨】モビリティの自動運転に必要な3次元地図を自動的に構築する技術について紹介する。モビリティを任意の目的地へ安全に移動させるには、車線や歩道を常に逸脱しないように、自車位置を安定的かつ高精度に計測する必要がある。GPSの計測が不安定な遮蔽物のある場所や屋内においても安定的かつ高精度な計測を実現する、産総研で開発してきた3次元地図構築・自車位置推定技術について説明する。

ー16:45 総合討論、名刺交換 (17:15 終了予定)

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局 (名古屋駅前イノベーションハブ内)

TEL:052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai-ml@aist.go.jp

【会場案内】

名古屋駅前イノベーションハブ

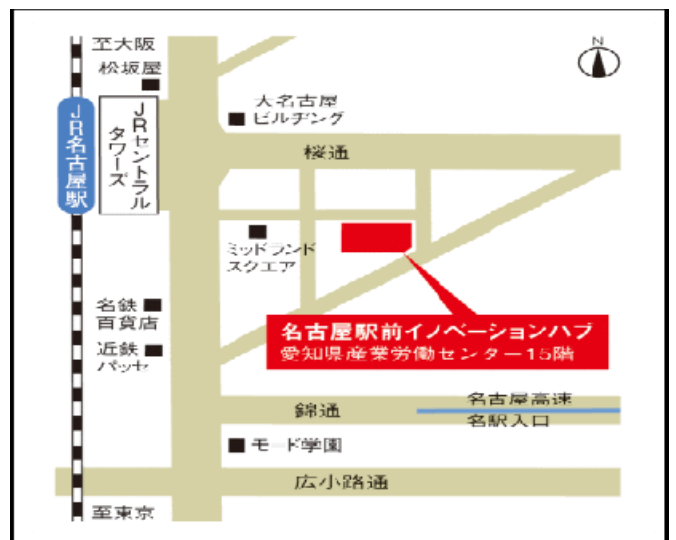
TEL : 052-583-6454 FAX : 052-583-6462

住所 : 〒450-0002

名古屋市中村区名駅 4-4-38

愛知県産業労働センター 15階
(ウインクあいち)

※ 名古屋駅より徒歩5分



産総研コンソーシアム 名古屋工業技術協会 平成28年度特別講演会

「自動車関連技術講演会」参加申込書

FAX : 052-583-6462

氏名 (代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役 職	
連絡先	TEL	E-mail:	
住所			

※本申込書に記載される個人情報は産総研コンソーシアム「名古屋工業技術協会」研究会・講演会の連絡のみに利用させていただきます。